正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校

「たい」のあふれる時津小

↑こちらからも↑

令和５年５月１０日（水）　発行人：校長　森内　秀学

新型コロナ、５類感染症に移行へ

５月８日から、ようやく、新型コロナの取扱いが、５類感染症へと移行されました。学校における新型コロナへの感染症対策は、おおよそ、次のように変わります。

◎　平時は、家庭との連携による児童生徒の健康状態の把握、適切な換気の確保、手洗い等の手指衛生や咳エチケットの指導は継続する。それ以外は、特段の対策は必要なし。
○　児童生徒の体温を毎日チェックさせ、学校に提出させる取組は不要。
○　学校教育活動においては、マスクの着用を求めないことが基本。
○　学校給食の場合においては、「黙食」は必要ない。
○　既往症があったり、高齢者と同居していたりするなど、合理的な理由により感染不安で休ませたいと相談があった場合は、校長の判断により、欠席としないことも可能。
○　新型コロナ感染症に係る出席停止解除後、発症から 10 日を経過するまでは、当該児童生徒に対してマスクの着用を推奨する。

◎の前半は、継続指導の部分です。家庭でもご協力のほど、よろしくお願いします。

地区の子ども同士で助け合おう~地区児童会~

時津小は、非常に交通量の多い道路に隣接しています。また、商業地も近いですし、近くには大小複数の川が流れています。もし、何かが起こったら…。

そんなときでも、近くに住んでいる子ども同士で助け合えるようにするための集会を開きました。「地区児童会（写真左）」です。地区ごとに集まった子どもたちは、ここにいる人たちが命を守り合う仲間であることや、お互いに顔をしっかり覚えておくことがいかに大切であるかを学んでいました。

こうした一つ一つの訓練をおろそかにしないことが、命を守ることにつながります。

日本文化も学びます~クラブ活動~

右の写真は何をしているところか分かりますか？実は、５月９日から始まったクラブ活動で、「日本舞踊クラブ」に入った子どもたちが、講師の先生からあいさつの所作を教わっているシーンなのです。講師は、川内千夏（かわうちちなつ）先生と、藤間弥千尋（ふじまみちひろ）先生。凛とした着物姿で穏やかに指導される姿を見ていると、この部屋が音楽室であることを忘れるほどでした。創立 153 年の本校ならではの、強力な地域のバックアップですね。